

# 芸術科（音楽Ⅰ）学習指導案

1 題材名 ポピュラー音楽の創作 教材名 循環コードで音楽をつくろう〔創作〕

## 2 題材の目標

和歌を読み取り、自己のイメージをもって音楽表現を工夫し、循環コードの進行に合わせた旋律創作を行うことができる。

## 3 指導事項

「A 表現 創作」

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること。

イ 音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくること。

## 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①音の連なりや重なりによる響き、音階や音型などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ②DTMの基礎的な知識・技能を踏まえ、旋律をつくったり、副次的な旋律や和音などを付けたりする技能を身に付け、創作で表している。	①コンピュータとその目的に応じたソフトウェアを使用し、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	①DTMを用いて、循環コードの進行に合わせた旋律創作を行うことに興味をもち、主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

## 5 指導と評価の計画（全3時間）

時	◆ねらい ○学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1時 (本時)	◆創作の仕方について理解し、自分が表現したい様子や心情を考える。 ①循環コードを使ったメドレーを聴かせる。 ②かるた大会に向けて根拠をもとに和歌をイメージした旋律を作ること理解する。 ③和歌の内容を知る。 ④DTM（カトカトーン）の操作を理解する。			
第2時	◆和歌から感受したことを根拠に循環コードの進行に合わせて創作する。 ①DTM（カトカトーン）の操作を復習する。 ②各自で創作活動を行う。	知 (ワークシート・観察)		
第3時 (本時)	◆創作した作品の表現意図を明確にし、相互評価をする。 ①MetaMoJiのワークシートに音声データ添付する。また、和歌を旋律で表現するために、どのような工夫をしたのかについても入力する。 ②クラス全員の作品を各自で聴き相互評価する。 ③印象に残った作品の感想をワークシートに入力する。		思 (ワークシート・観察)	態 (ワークシート・観察)

## 6 本時の指導（第3時／3時間）

### (1) 本時のねらい

創作した作品を相互評価する活動を通して、和歌のイメージに合わせてどのような旋律を作るかについて、表現意図をもつことができた。

### (2) 本時の展開

学習過程	授業形態	学習活動	指導上の留意点
導入 (10分)	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の目標</li> <li>・ MetaMoJi のワークシートに創作した旋律の表現意図を入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創作活動のみで終わるのではなく、表現意図を明確にする必要があることを伝える。</li> </ul>
展開 (35分)	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MetaMoJi に添付された音声データを聴き、一番印象に残ったものについて評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぜ印象に残ったのか、和歌と関連づけて入力することで、根拠を元に評価することができると理解させる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>コンピュータとその目的に応じたソフトウェアを使用し、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている</p>
まとめ (5分)	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題材の学習内容を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和歌と音楽が一体となることで深い感情を表現することができると理解させる。</li> <li>・ 国語科で学習した知識を活かし、新たに習得した知識や技能、これまでの生活体験などを踏まえて、創作表現に対する自己のイメージを一層豊かにし、自分の意思をもって、表現意図を明確にしていくことが大切であると理解させる。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>DTMを用いて、循環コードの進行に合わせた旋律創作を行うことに関心をもち、主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>